

千葉のちから中小企業表彰

「千葉のちから中小企業表彰（従業員表彰）」が2月1日、千葉県庁で行なわれた。本会推薦の被表彰者は次の3名。

▼斎藤富士夫(株)九六(匝瑳市) Ⅱ成田市水産物仲卸(協) ▼福本房夫(株)味工(株)(館山市) Ⅱ千葉県漬物工業(協) ▼榎澤輝夫(株)デス(株)(千葉市緑区) Ⅱ(協)千葉電設協会

金融懇談会

本会は2月1日、千葉市内において金融懇談会を開催した。

これは、本会と商工中金千葉及び松戸支店が出席し、①組合の設立状況②千葉県における労働事情実態調査③最近の金融情勢についての報告があり、その後組合金融について意見交換が行なわれた。

中小企業憲章に関する研究会

中小企業庁は、2月3日経済産業省において、「中小企業憲章」に関する研究会を発足させた。

これは、中小企業憲章の制定に向けて、「次世代の人材育成」、「公正な市場環境整備」、「中小企業金融の円滑化」などを柱にこれから検討していくもの。

中小企業憲章とは、日本の経済社会における中小企業の役割を評価し、国づくりの柱に据えることを国会が決議し、憲章の精神を実現するために、現行の中小企業基本法をはじめ、諸法令を整備・充実させる道筋を示すもの。

すでに、EUでは「中小企業憲章」で、中小企業を「欧州経済のパックボーン」であるとの理念を掲げ、ヨーロッパ経済戦略の中核に中小企業を位置付けている。

我が国でも、04年版の『中小企業白書』では「中小企業は過去にも現在でも将来においても経済社会を先導する存在」として、中小企業を正しく評価する気運がおりつつある。

海匝銚子地区懇談会

本会は2月4日、銚子市内のホテルにおいて、地域組合等活動支援事業の一環として、懇談会を開催した。

はじめに経営コンサルタントの安藤孝先生が「組合活動活性化について」講演、続いて本会の設立相談室と連携支援部(商業支援課、工業支援課、経営支援課)から中小企業連携組織対策事業についての説明があり、その後意見交換が行なわれた。

組合事務局責任者協会総会

千葉県中小企業団体事務局責任者協会は、2月8日千葉市内で、第3回通常総会を開催し、平成21年度事業報告及び決算報告、平成22年度事業計画案及び収支予算案を承認し、任期満了に伴う役員改選では、次期会長に千葉県コンクリート製品(協)の神子勇事務局長が選任された。

総会終了後、本会と共催で組合事務局担当者等研修会(セミナー)が開催され、明治大学政治経済学部森下正教授による「中小企業組合の未来像を探る」と題する基調講演、日本自動車ガラス販売施工事業(協)の渡邊伸一専務理事の「組合運営と財政基盤の強化について」の事例発表があり、その後、全体交流会が開かれた。

商業4団体新春合同講演会

千葉県商店街連合会、千葉県商店街振興組合連合会、千葉県商業専門店協同組合連合会、千葉県共同店舗協議会は共催で2月10日、千葉市内において新春講演会を開催した。

はじめに、太田巳津彦ワイ・キャップコンサルティング代表が「個店の魅力を引き出すための一店逸品運動」について基調講演を行い、続いて太田氏がコーディネーターになり「店逸品運動を商業活性化につなげるための方策」についてパネルディスカッションが行なわれ、その後新春賀詞交換会が開催された。

情報連絡員会議

本会は2月16日、千葉市内で、①事務局による「情報連絡員集計結果報告」②三井生命保険(株)千葉支社による、「生命保険を活かした事業承継対策」をテーマに、情報連絡員会議が催された。

組合青年部千葉県大会

千葉県中小企業団体青年中央会(佐久間厚尚代表幹事)は2月17日、千葉市内において、千葉県大会を開催した。

はじめに、佐野総合法律事務所(佐野直樹弁護士)の「債権回収について」の講演、千葉県金融支援室の「千葉県の制度融資について」の説明があり、交流懇親会が開かれた。

中小企業団体交流大会

本会と千葉県異業種交流融合化協議会(本田周会長)は共催で、2月24日千葉市内において、中小企業団体交流会を開催した。

「MICブランド確立に向けた経営戦略」と題した水上印刷(株)水上光啓代表取締役の基調講演、「地域発展に向けた木更津工業高等専門学校の取組みについて」と「組合事業活用による企業活性化について」の事例発表があり、その後全体交流会が開かれた。

第3回理事会(予算)

3月19日(金)午後3時
ホテルポートプラザちば